

イベントス主催  
個人投資家向けIRセミナー

DAIKO XTECH株式会社 証券コード:8023

2025年9月16日

## 今回のセミナーでお伝えしたいこと

- DAIKO XTECHの事業概要と特長
- “五方良し経営”と成長戦略

## 今回のセミナーでお伝えしたいこと

- **DAIKO XTECHの事業概要と特長**
- “五方良し経営”と成長戦略

**DAIKO XTECH** は、

未来に問いかけ、「価値あるしくみ」で応える

**ITサービス企業**

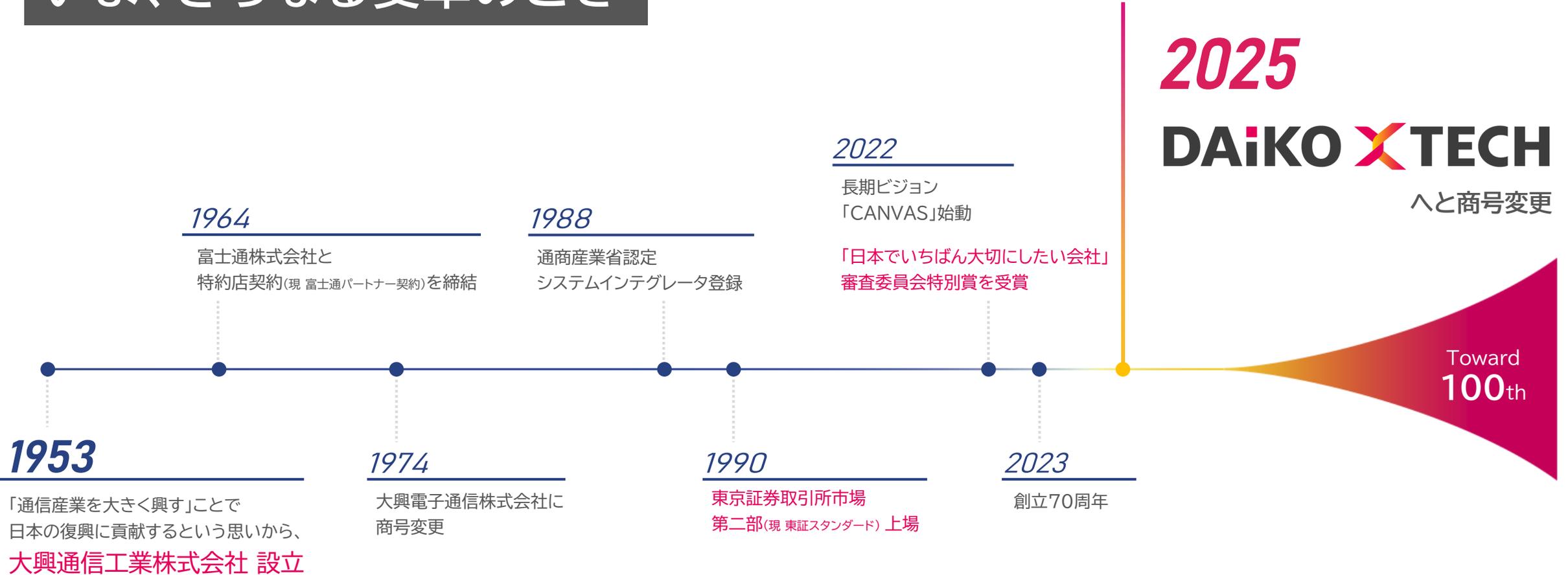
事業内容

ITに関するコンサルティングから  
システム構築・運用・検証までをワンストップで対応

会社名	DAIKO XTECH株式会社
設立	1953年12月1日
本社所在地	東京都新宿区揚場町2番1号 軽子坂MNビル
代表者	代表取締役社長CEO 松山 晃一郎
資本金	1,969百万円 ※2025年3月末時点
従業員	1,323名(連結) ※2025年3月末時点
事業内容	ITインフラ構築からシステム開発・運用まで、 企業のデジタル変革を支える総合ITソリューション事業
主要株主	富士通株式会社 株式会社オービック 株式会社ドッドウエル ビー・エム・エス DAIKO XTECH従業員持株会

お客さまと築いた70年を礎に

## いま、さらなる変革のとき



2025年4月1日

“大興電子通信株式会社”から“DAIKO XTECH株式会社”へ商号変更を行いました。

“X”は「未知数」や「未来」を意味し、  
お客さまや会社と当社がともに協力しながら「新たな価値あるしくみを共創していく」ことを表現



“DAIKO”は「通信産業を大きく興すことで日本の復興に貢献したい」という  
創業当時の思い・理念を継承することを表現

“TECH”はテクノロジーを駆使した課題解決への揺るぎない姿勢を表現

DAIKO XTECHはITのライフサイクル全体をカバーすることで、業種や事業規模に関わらず、経営課題解決のためのソリューションを幅広く提案しています。



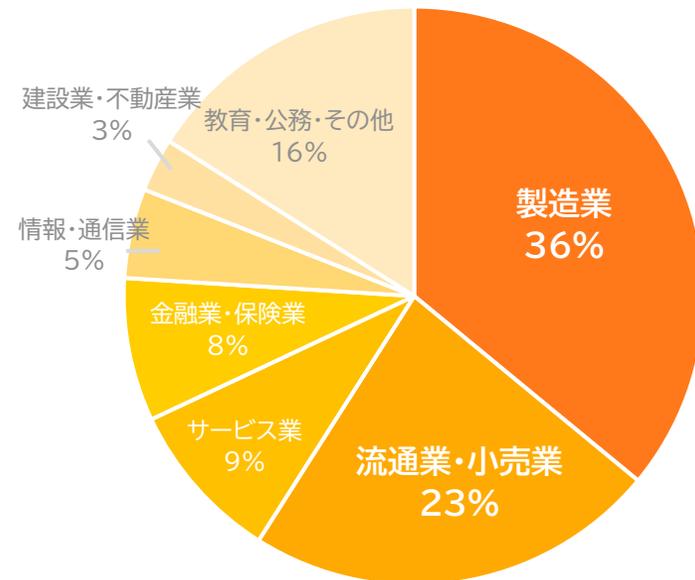
# 当社の顧客構成

幅広い業種・企業規模に対応可能。

大企業にとどまらず、中堅企業とも共に歩み、長期的なパートナーシップを築いています。

## 業種別顧客構成

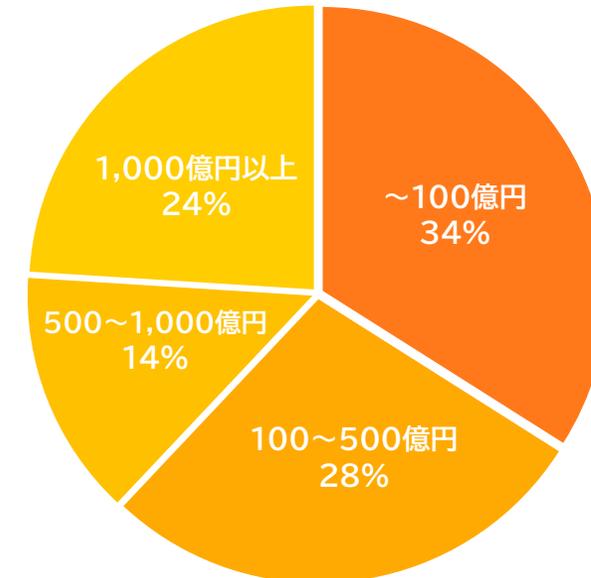
製造業や流通業・小売業を中心に幅広い業種に対応



※ 2025年3月期実績

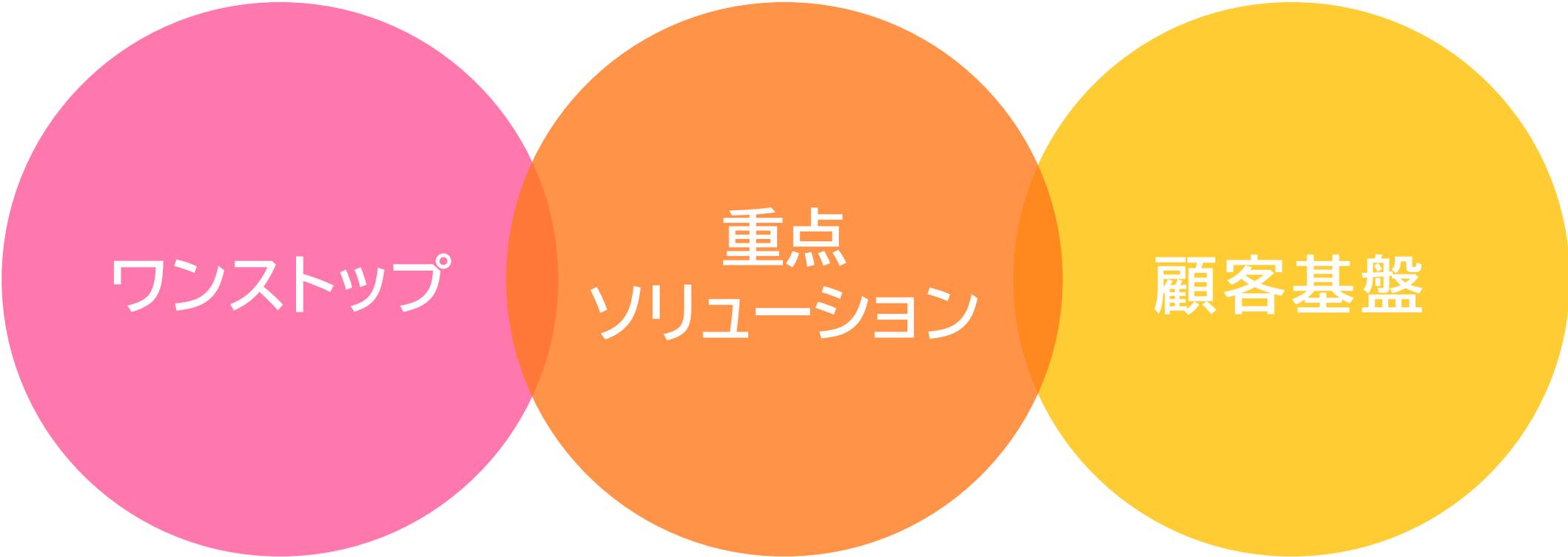
## 年商レンジ別顧客構成

大企業から中小企業まで、企業規模にあわせたご提案を実施



※ 2025年3月期実績

## DAIKO XTECHの3つの特長



ワンストップ

重点  
ソリューション

顧客基盤

## 特長① ワンストップ



特長①  
ワンストップ

2,800社超のパートナー基盤 による 対応力



富士通の大手パートナー でありながら

他メーカー製品も幅広く取り扱う マルチベンダー



ITに関するコンサルティングから  
システム構築・運用・検証までワンストップで対応

## 特長② ソリューション

お客様の業務に精通した **ITプロフェッショナル**



共創から生まれた **独自のパッケージソフト** で **市場開拓**



付加価値の高い”重点ソリューション”を中心に  
幅広い業界ニーズに最適なソリューションを提供



特長②

重点

ソリューション



製造業・流通業を中心とした **幅広い業種**



大手から中堅企業まで  
多様なソリューションで伴走する **総合力**



創業70年以上の長年にわたる **直接取引**



お取引実績**20,000社以上**の  
強固な事業基盤・顧客基盤を構築

「ワンストップ」「重点ソリューション」「顧客基盤」の3つの特長が  
DAIKO XTECHの強みであり、競争優位性となる。

## ワンストップ

多彩なパートナー基盤(2,800社以上)とマルチベンダー※としての製品提供を強みに、ITに関するコンサルティングからシステム構築・運用・検証までワンストップで対応しています。

## 重点ソリューション

自社ソリューションを軸とした付加価値の高いソリューション“重点ソリューション”を中心に幅広い業界ニーズに最適な提案を提供しています。

## 顧客基盤

製造業・流通業を中心に、長年にわたる直接取引で築いた**2万社以上**のつながりを持ち、安定した顧客基盤を有しています。

※ 富士通の大手パートナーでありながら、他メーカー製品も幅広く取り扱うマルチベンダー

## 今回のセミナーでお伝えしたいこと

- DAIKO XTECHの事業概要と特長
- “五方良し経営”と成長戦略

# “五方良し経営”について

## 五方良し ▶ 社員・パートナー・お客さま・地域社会・株主

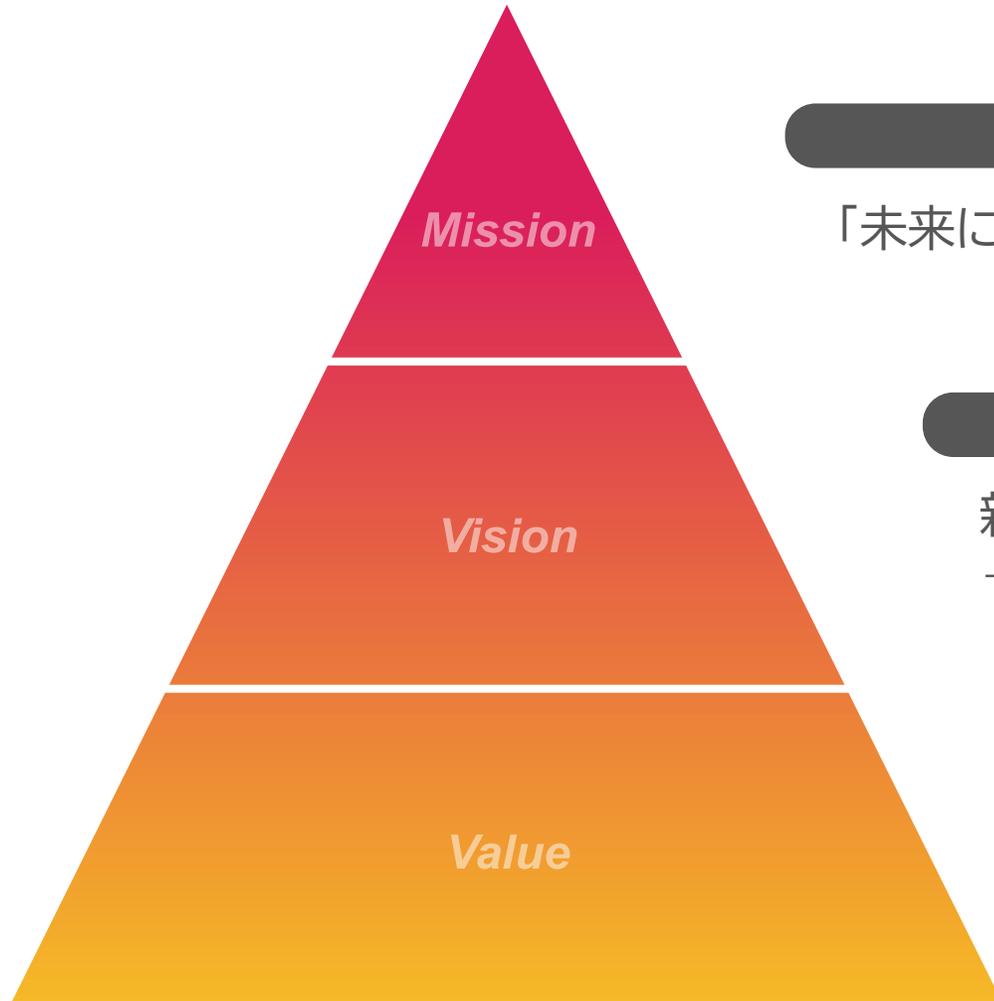
近江商人の理念 「売り手」「買い手」「世間」の三方良し  
 +  
 「パートナー」「株主」の二方を追加



### 五方良し経営 主な実績

- 第12回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 審査員特別賞を受賞
- 青空農園※における障がい者雇用
- 各種株主還元施策(株主優待の導入、剰余金の配当等)の実施

今後も、当社を取り巻く”五方”のステークホルダーの皆さまにとって、  
 中長期的な価値が持続的に循環する経営に取り組んでまいります。



## Group Mission

「未来に問いかけ、価値あるしくみで応える」

## Vision Statement for 2030

新たな価値提供への挑戦を続け、彩りのある企業へ  
– Be Challenging, Be Colorful –

## Value (グループで共有する価値観)

五方良し経営

①社員 ②パートナー ③お客さま ④地域社会 ⑤株主

当社が事業を展開するIT業界は、社会構造の変化やデジタル技術の発展により日々変化しています。

当社は、このビジネス環境の変化に柔軟に対応するため、

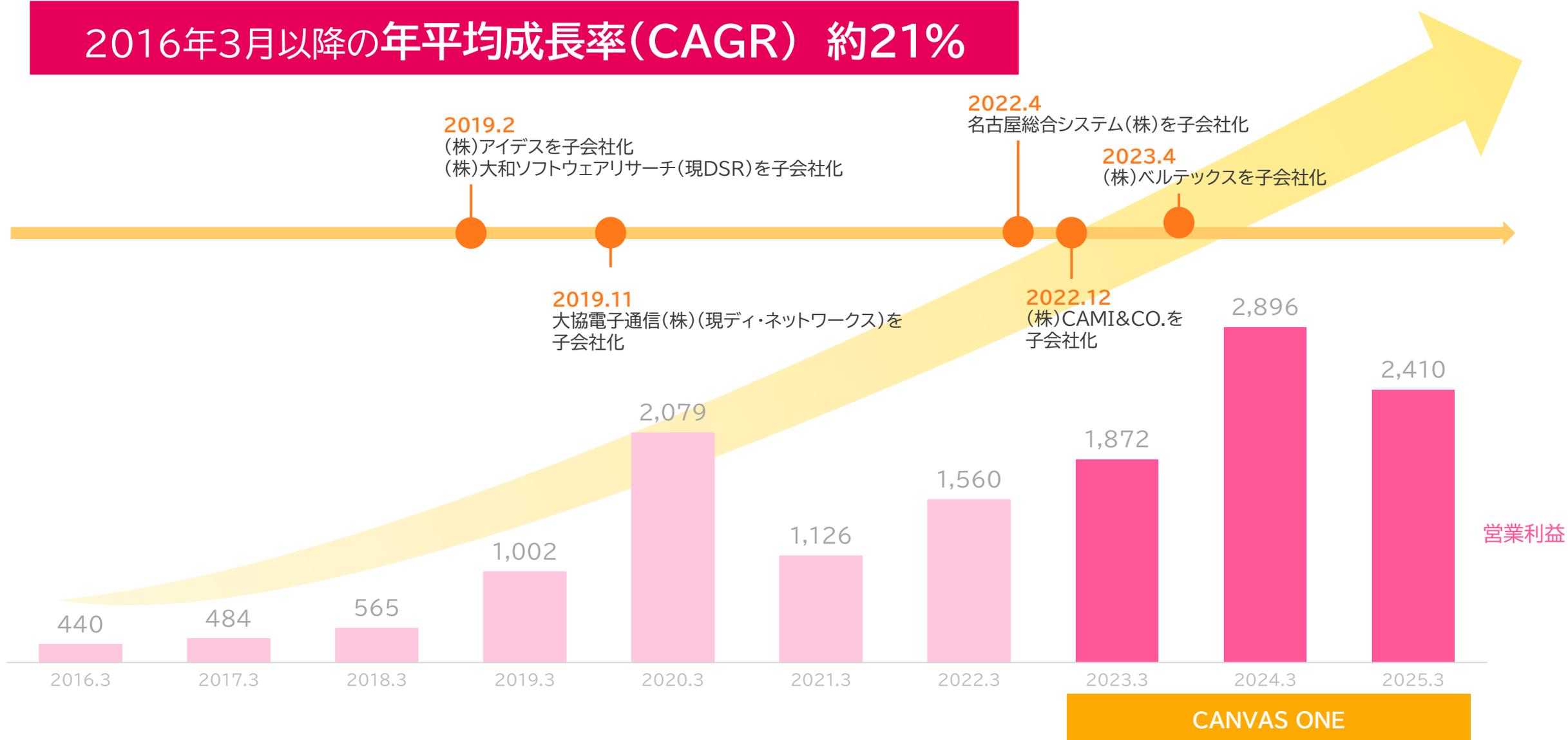
新しい価値の共創の実現を目指した長期経営計画 “  CANVAS ” を策定しております。

2030年 ビジョンステートメント

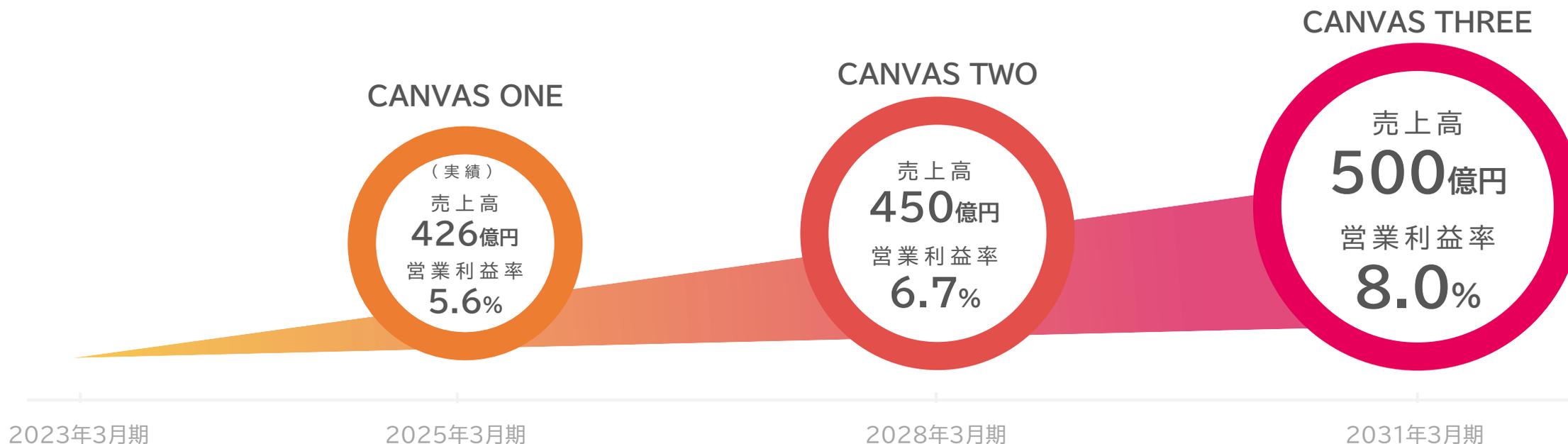
新たな価値提供への挑戦を続け、彩りのある企業へ

— Be Challenging, Be Colorful —

2016年3月以降の年平均成長率(CAGR) 約21%



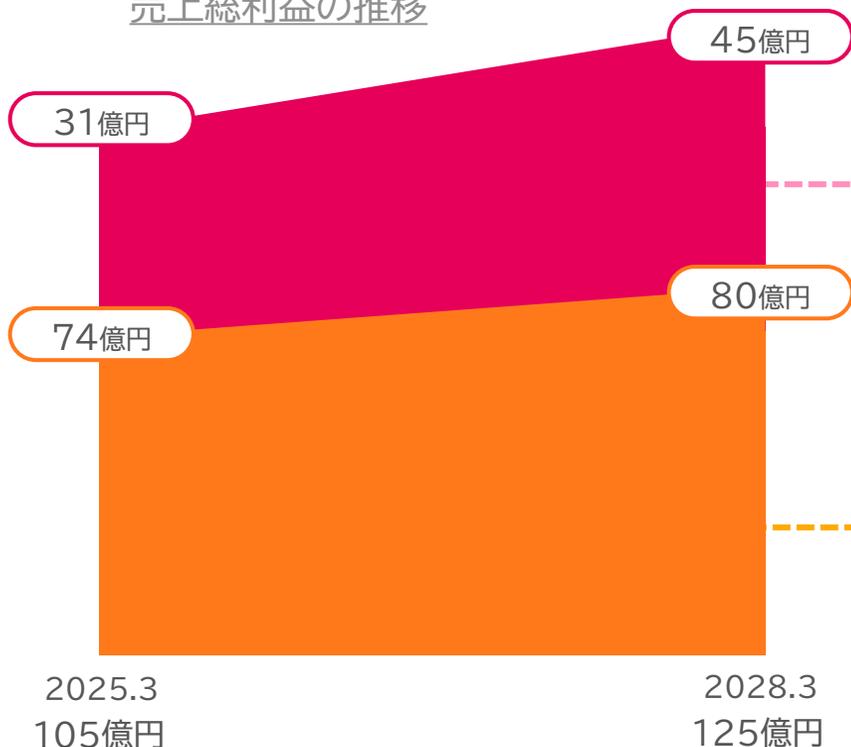
2031年3月期に**売上高500億円、営業利益率8.0%**を目指す。



CANVAS2030のVision(新たな価値提供への挑戦を続け、彩りのある企業)の実現に向けて、  
これまでの収益構造を変革し、環境変化に強い企業集団として新たな価値の提供を目指します。

## 成長戦略概要

売上総利益の推移



### 重点ソリューション

既存領域

新規領域

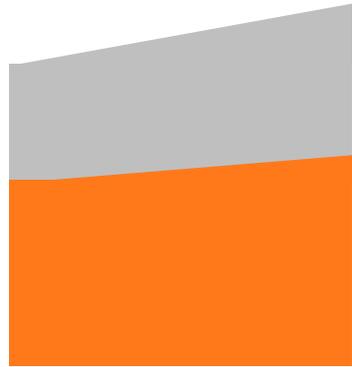
収益性や成長性の観点で当社が特に注力する領域  
(自社開発パッケージや市場ニーズの高いソリューション 等)

### コアビジネス

既存領域

当社の収益基盤を担う既存事業  
(基幹システムや老朽化したシステムの刷新(モダナイゼーション) 等)

# 当社グループの成長戦略① コアビジネスの高付加価値化

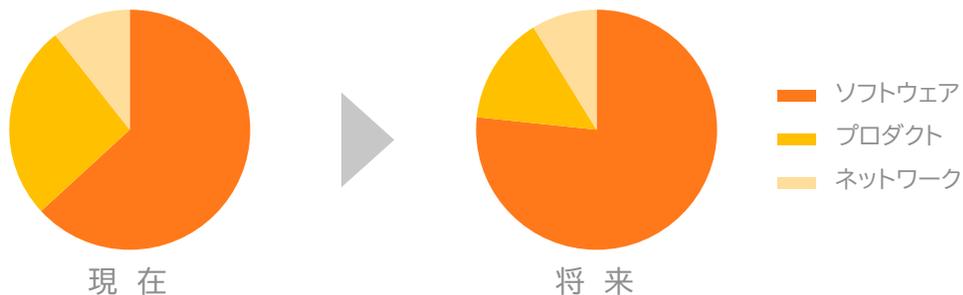


## コアビジネスの高付加価値化

価値提供の基盤となるソフトウェアソリューションにリソースを集中し、  
リカーリング型へのシフトを進めることで、収益性の高い事業構造へ変革

一過性の売り切り型から継続的な価値を提供できる  
リカーリング型のソフトウェアソリューションに注力

コアビジネス ソリューション区分別構成比イメージ



コアビジネスにおける  
売上総利益率イメージ



一過性の収益から継続的な  
収益モデルへの移行により、  
安定性と収益性を両立する  
高粗利率事業構造を実現

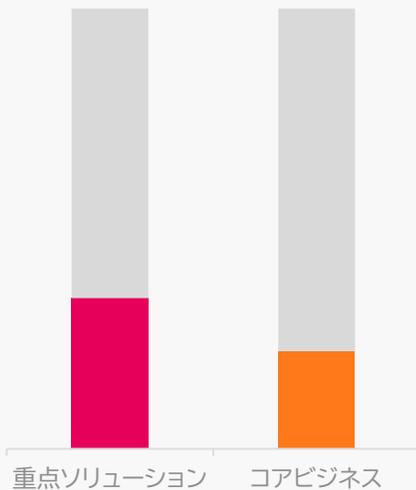
# 当社グループの成長戦略② 重点ソリューションの育成



## 重点ソリューションの育成

収益性や成長性の観点で優位性を持つ重点ソリューションに注力し、  
価値提供の拡大・シェアの拡大に向けた体制強化により高い成長を実現

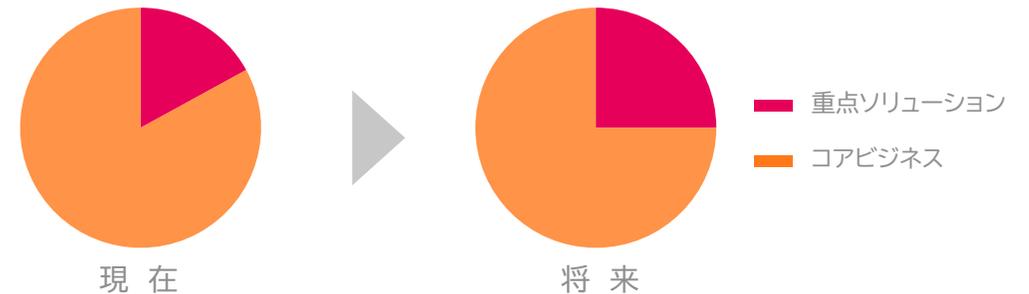
売上総利益率イメージ



コアビジネスと比べ、  
重点ソリューションは  
粗利率が高い傾向にある。

重点ソリューションへの投資強化により構成比を拡大し、  
売上総利益率の向上と持続的成長を実現

事業ポートフォリオイメージ



## 成長投資推進

- 成長投資 3年間累計 約90億円
- M&Aを中心とした積極的な投資を計画

## 財務健全性

- 自己資本比率50%目安
- 現預金水準は60億円程度を保有
- 政策保有株式は年度で経済合理性を確認

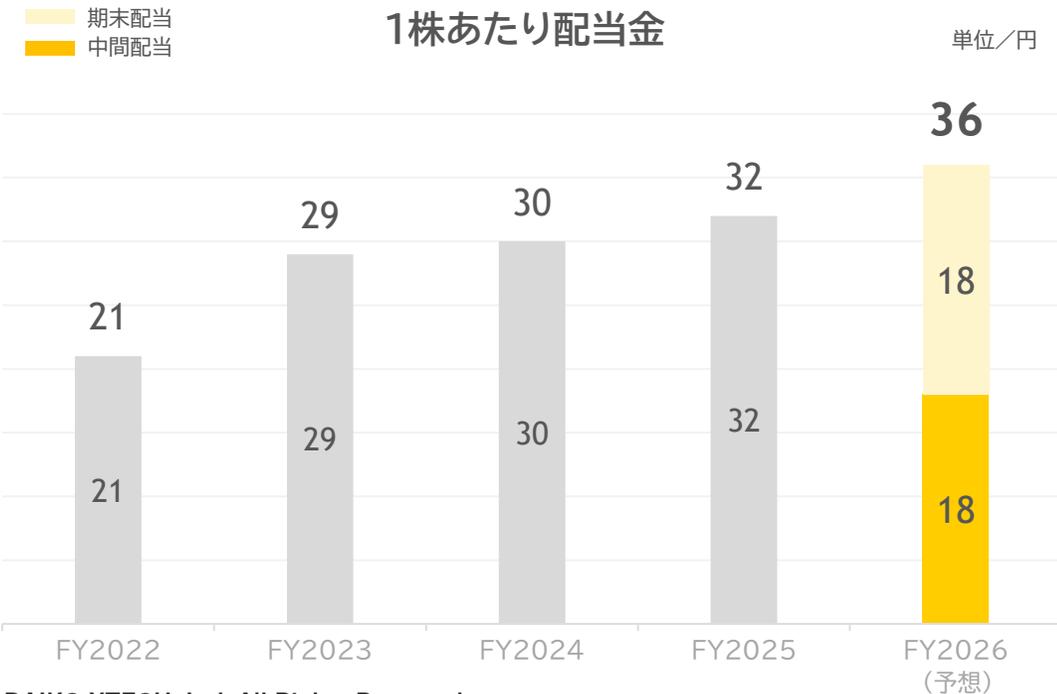
## 株主還元強化

- 配当はDOE3%をベースとする安定的・継続的な実施が基本方針
- 機動的な自社株買いを含めた株主還元策を適宜検討
- 株主優待の導入・実施

# 株主還元①

当社は中長期の成長を見据えた企業価値向上に取り組んでおり、将来への投資と株主還元のバランスを重視しています。

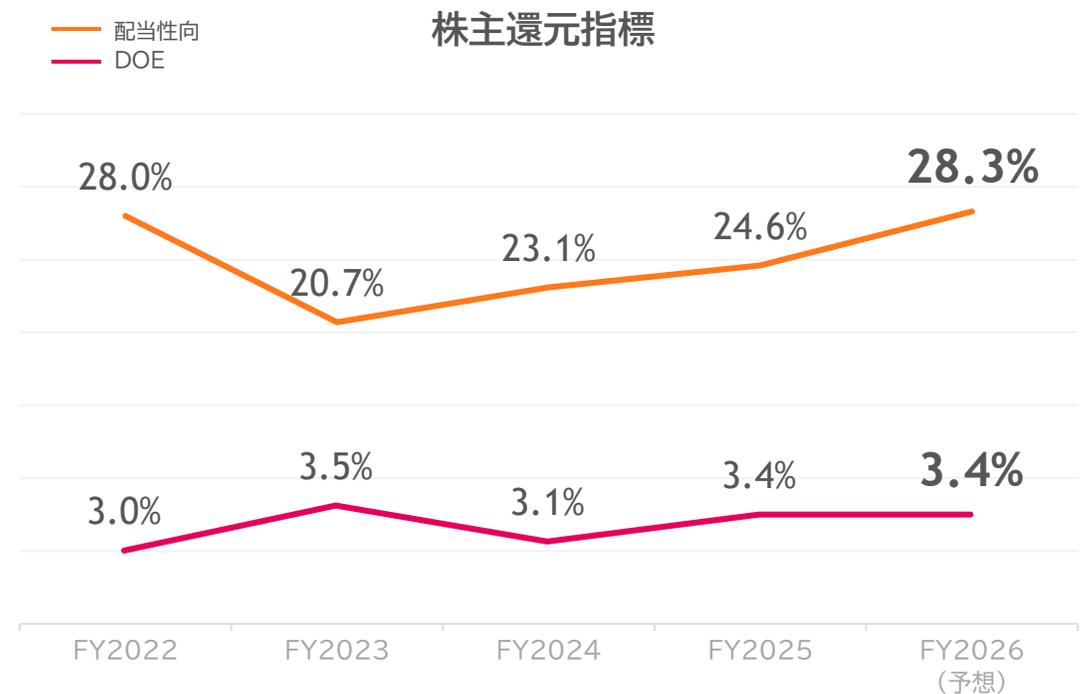
配当については、DOE3%を目安に安定的かつ継続的な実施を基本方針としております。また、剰余金の配当に加え、機動的な自社株買いも含めた株主還元策を適宜検討いたします。



2026年3月期 配当予想

中間18円/株、期末18円/株

**年間配当金 36円/株**



2025年9月30日を基準日として、株主優待制度を開始。

基準日

毎年 **9月30日**

所有株式数

**1 単元 (100株)** 以上

継続保有期間 **3年未満**

クオ・カード **1,000円分**



継続保有期間 **3年以上**

クオ・カード **2,000円分**



※「継続保有期間3年以上」とは、毎年基準日である3月31日および9月30日現在の株主名簿に、同一の株主番号で、7回以上連続して記載又は記録されていることをいいます。

※ 権利確定日から3か月以内を目処に、株主名簿に記載された住所宛てに発送を予定しております。

ご参考

100株保有、継続保有期間3年未満の場合の利回り

(2025年3月31日終値より算出)

配当利回り

**4.2%**

優待利回り

**1.2%**

+

=

総合利回り

**5.4%**

## DAIKO XTECH は…

- 70年以上の歴史と20,000社超の取引実績を背景に、  
製造業・流通業を中心とした幅広い企業と信頼関係を築いてきた**ITサービス企業**。
- **環境変化に強い企業集団**として収益構造を変革し、“**五方良し**”の理念のもと  
100年企業を目指して持続的な成長と企業価値の向上に取り組む。
- **中長期的な収益基盤強化と持続的な成長の実現**に向け、  
**コアビジネスの高付加価値化と重点ソリューションの育成**を両輪とした成長戦略に取り組む。

ご清聴ありがとうございました

**DAIKO XTECH**

---

お問合せ

DAIKO XTECH株式会社 IR担当

<https://www.daiko-xtech.co.jp/contact/ir/>

# APPENDIX

## 概ね想定通りの進捗

- ・ 前四半期の大型PC販売の剥落等により、売上高は減少
- ・ モダナイゼーション案件・ストックビジネスの増加により、受注高・受注残高は堅調
- ・ 高粗利率案件の減少ならびに人的資本投資による販管費の増加により、営業損失を計上

売上高

**9,085** 百万円

前年同期比 ▲663百万円  
▲6.8%

受注高

**10,283** 百万円

前年同期比 +497百万円  
+5.1%

受注残高

**10,882** 百万円

前年同期比 +2,748百万円  
+33.8%

営業利益

**▲151** 百万円

前年同期比 ▲440百万円  
－%

経常利益

**▲140** 百万円

前年同期比 ▲466百万円  
－%

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

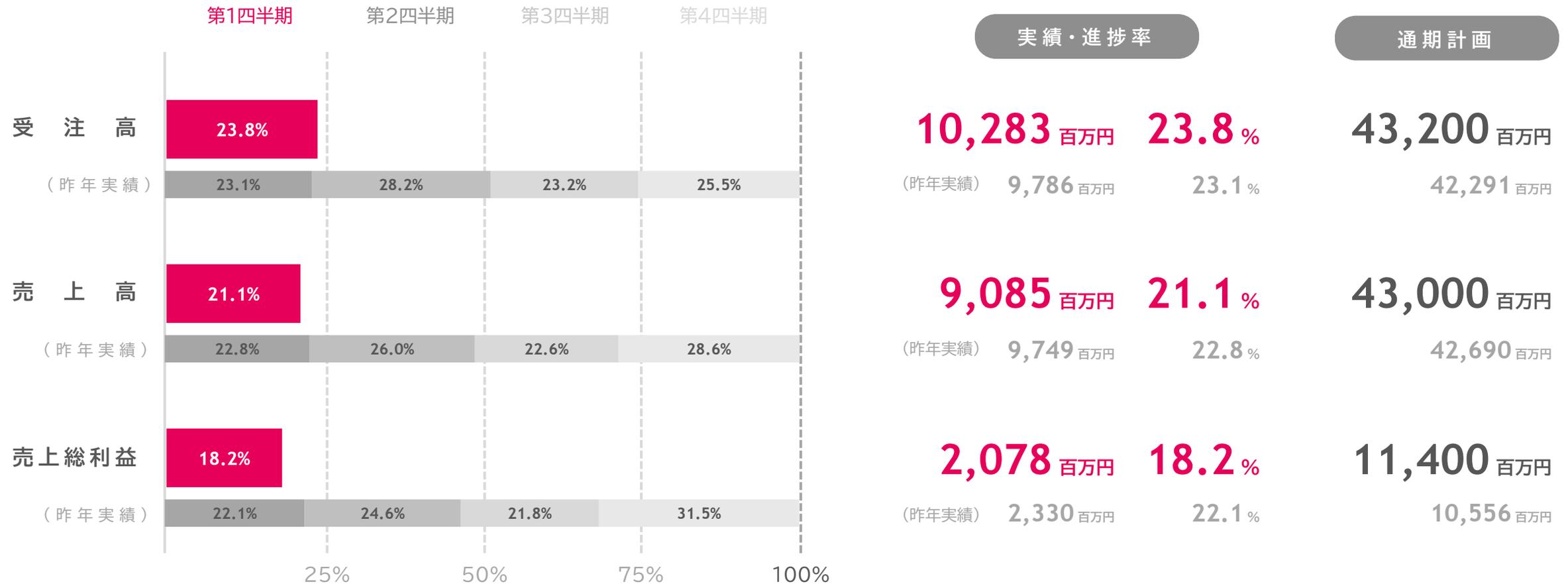
**▲124** 百万円

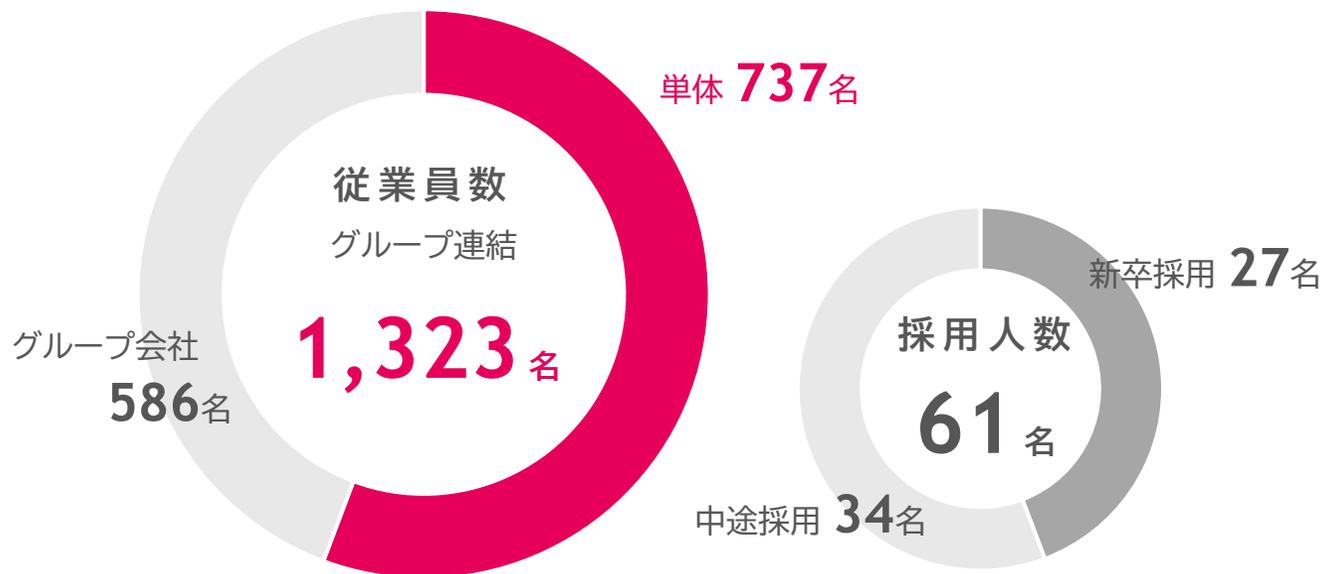
前年同期比 ▲324百万円  
－%

※ 前年同期の受注高、受注残高については、ストックビジネスの集計方法変更に伴う調整後の数値

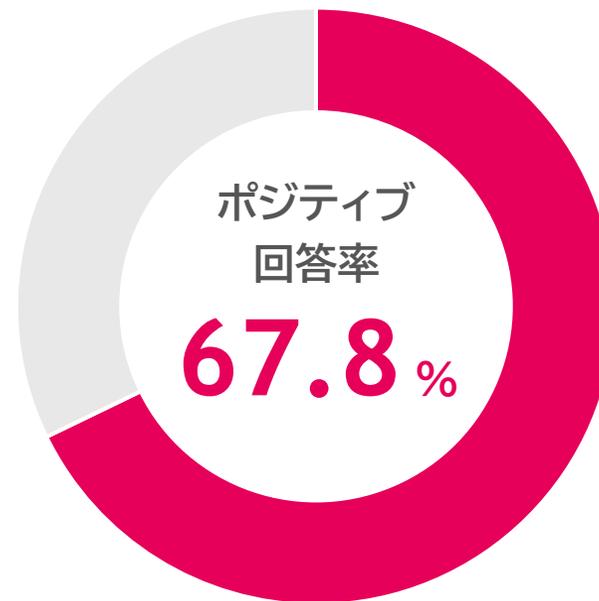
# 通期計画に対する進捗

主にフロービジネスの売上減少により売上高・売上総利益の進捗は遅れているものの、受注高・受注残高は順調に積み上がっている。





従業員エンゲージメント



離職者数・離職率

人数 **47**名 | 離職率 **4.9**%

女性管理職

人数 **22**名 | 比率 **7.7**%

障がい者雇用

比率 **3.4**%

一人当たりの教育投資額

**118**千円

一人当たりの生産性

**15,625**千円

※ 各項目は、当社単体(連結と明示しているものを除く)における2025年3月期の実績

## 障がい者支援の取組みについて

当社は一時的な支援ではなく、障がい者の成長過程における社会参加を継続的に支援するため、以下のとおり取り組んでまいります。

就学前：障がい児保育園への寄付・支援

就学时：特別支援学校などへのITサービス提供

就学後：就労支援を行う社会福祉法人への支援

就 労：当社運営の「青空農園」における障がい者雇用の実施

今後も当社のValueである「五方良し経営」を基盤に、地域社会や未来を担う世代への支援を継続的に行い、企業としての社会的責任を果たしながら、持続可能な価値創出に取り組んでまいります。

## 障がい児保育園への支援

当社は、全国に約2万人いるといわれる医療的ケア児を含む障がい児を専門的に長時間受け入れ可能な保育園を日本で初めて実現したNPO法人の活動に賛同し、継続的に寄付や支援を行っています。

### 寄付

安全で継続的な保育環境や子供たちの発育促進を実施する物品購入へ充当いただいています。

### 支援

夏まつりイベントでの運営補助をはじめ、eスポーツやゲームアプリを活用したインクルーシブ・テック体験会など、子どもたちが多様な楽しみや学びを得られる機会を提供する支援活動に取り組んでいます。



## 青空農園

当社では、2021年8月より障がい者支援の一環として「DAIKO青空農園」の運営を開始しました。売上や利益を目的とするものではなく、スタッフの就労機会の創出と安定的な労働環境の提供に注力しています。農作物は社内提供に加え、地域の社会福祉法人が運営する食堂へも提供しています。本取組みは企業文化の醸成や当社の社会的企業価値向上にも寄与しています。



## ファミリーデーの開催

従業員のご家族を対象としたファミリーデーを開催し、ご家族とのつながりを育むことで、職場への理解と従業員のエンゲージメント向上を図っています。働きがいのある環境づくりと人的資本への投資の一環として取り組んでいます。



### 直近の開催実績

2024年12月25日 開催	13家族 21名 がご参加
2025年 8月 5日 開催	16家族 25名 がご参加

※ コロナ禍は一時的に開催を見送っておりましたが、昨年より再開いたしました。

## 2026年3月期 第1四半期 決算関連資料

・決算短信:

[https://www.daiko-xtech.co.jp/cms/wp-content/uploads/2025/08/financial\\_2026\\_1.pdf](https://www.daiko-xtech.co.jp/cms/wp-content/uploads/2025/08/financial_2026_1.pdf)

・決算補足説明資料:

[https://www.daiko-xtech.co.jp/cms/wp-content/uploads/2025/08/irinfo\\_20250808.pdf](https://www.daiko-xtech.co.jp/cms/wp-content/uploads/2025/08/irinfo_20250808.pdf)

## 中期経営計画“CANVAS TWO” 関連資料

・資料 : [https://www.daiko-xtech.co.jp/cms/wp-content/uploads/2025/05/irinfo\\_2025\\_01.pdf](https://www.daiko-xtech.co.jp/cms/wp-content/uploads/2025/05/irinfo_2025_01.pdf)

・動画 : [https://www.daiko-xtech.co.jp/ir/financial-contents\\_202505/](https://www.daiko-xtech.co.jp/ir/financial-contents_202505/)

・書き起こし: <https://finance.logmi.jp/articles/381632>

### その他資料（お知らせなど）

- ・当社IRページ:

<https://www.daiko-xtech.co.jp/ir/>

- ・社名変更のお知らせ:

[https://www.daiko-xtech.co.jp/cms/wp-content/uploads/2025/04/other\\_2025\\_01.pdf](https://www.daiko-xtech.co.jp/cms/wp-content/uploads/2025/04/other_2025_01.pdf)

- ・株主優待制度の新設に関するお知らせ:

[https://www.daiko-xtech.co.jp/cms/wp-content/uploads/2025/05/other\\_2025\\_05.pdf](https://www.daiko-xtech.co.jp/cms/wp-content/uploads/2025/05/other_2025_05.pdf)

当社は、SNSでもIRに関する情報を発信しております。

ぜひフォローをお願いいたします！

DAIKO XTECH株式会社 IR公式

@daikoxtech\_ir



## 免責事項

本資料は、情報提供のみを目的として作成しており、有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当社が本資料の日付時点において入手可能な情報に基づいて作成されており、リスクや不確実性を内包するものです。これらの記述は、将来的な結果や業績を保証するものではありません。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、市場の状況・金利・通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況の変化や法規制の変更、当社が事業を展開する業界の動向等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいております。

---

### お問合せ先

DAIKO XTECH株式会社 IR担当

### T E L

03-3266-8111

### お問合せフォーム

<https://www.daiko-xtech.co.jp/contact/ir/>

### IRサイト

<https://www.daiko-xtech.co.jp/ir/>

**DAIKO X TECH**

---

未来に問いかけ、価値あるしくみで応える